

1. 地域包括支援センターの方針(担当圏域の特色や課題分析を踏まえて)

担当圏域である北部地域は南部地域と比較して、一人暮らし高齢者や高齢者夫婦といった世帯の割合が高い地域となります。そのため総合相談の件数も年々増えていきます。また地域ケア会議などを通じ、圏域内の各地域の課題の収集を積極的に進め、多様な機関や多職種との連携を深めます。また、社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員、認知症地域支援推進員等の配置職員の専門性だけでなく社協法人内の事業も活用することで、「複合化・複雑化」した相談ケースにも対応していきます。

2. 事業別の実施内容

※目標値は、数値目標のみ記載し、空欄については随時行うものとする。

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
1. 総合相談支援業務			
① 実態把握	・民生委員や関係機関等と協力して、戸別訪問等を実施し、支援が必要な高齢者の現状について状況把握を行う。 ・いきいき出前講座や地域の通いの場への訪問を通じて、地域の課題やニーズの把握を行う。 ・お元氣訪問後、継続訪問や連絡が必要な人をリスト化し包括内で周知、計画的に訪問等を通じて実態把握を行う。	・随時 ・年12回	・お元氣訪問回数：述べ人数：72人/年 ・いきいき出前講座：21回/年
② 総合相談支援	・「社協だより」内に地域包括支援センター(以下「包括」という。)PR記事の掲載やホームページに掲載することで、活動の周知を図る。 ・毎日、朝礼で情報共有を行い、三職種で確認して記録を作成することで、多様な相談内容に対応する。 ・圏域内の各機関に包括紹介カードを設置し、包括の周知と共に情報提供及び相談に対応する。	・年1回、ホームページ作成 ・毎日 ・13か所設置	・社協だより第106号掲載 ・毎日実施 ・11か所設置(和合郵便局/白鳥郵便局/キョウワ薬局東郷・諸輪・和合ヶ丘/貴船薬局/ユタカドラッグ/三聖堂/アリエス調剤薬局/リリーフ調剤薬局/愛知警察署)
③ 地域におけるネットワークの構築	・地域の通いの場やコミュニティセンターなどへ訪問し、包括の周知だけでなく情報交換・ネットワークの構築を行う。 ・民生委員定例会や各種会議の参加を通じて情報交換・ネットワークの構築を図る。 ・包括窓口で随時最新の介護情報などをわかりやすく掲示することで地域のネットワーク化の推進を図る。 ・包括定例会において、把握した地域状況や地域課題を町担当課及び南部包括と共有する。 ・包括職員の全体会を開催し、南部包括との情報交換を行って連携強化を図る。	・8か所 ・毎月 ・随時 ・年12回 ・年3回	・北山台・白鳥・和合ヶ丘・諸輪住宅・和合・諸輪・地域サポーター会・寺カフェ・グランドゴルフ(北山台/和合) ・毎回参加(8回) ・随時 ・年12回 ・年4回(4月9月1月2月)
④ 家族介護者への相談支援体制の充実	・介護保険サービスだけでなく、家族介護者向けの地域資源等に関する情報収集を行う。 ・包括窓口で幅広い介護に関する事業等のパンフレットを配置し、情報提供を行う。 ・認知症カフェや男性介護者のつどいなどに参加し、介護者の相談支援体制をとる。	・随時 ・随時 ・随時	・随時実施 ・パンフレット設置 ・認知症カフェ 10回/年 ・男性介護者の集い 10回/年 ・コスモスの会 7回/年
【具体的な取組内容や実績値について】			
地域の通いの場やサロンなどに出向き、参加者や運営者とこまめに情報交換をするようにした。本人や民生委員からの相談件数を令和3年度より増やすことができた。今後も定期的に地域に出向くことで身近な相談窓口としての役割を果たしていきたい。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 包括の紹介カードを圏域の2つのスーパーに設置するための調整ができなかった。スーパーだけでなく高齢者が立ち寄りそうなコンビニエンスストアや喫茶店などの場所に設置すれば周知が図れるのか、再度検討したい。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
2. 権利擁護業務			
① 成年後見制度の活用促進	・尾張東部権利擁護支援センターや町担当課と連携し、成年後見制度の周知と活動支援を行う。 ・成年後見制度や日常生活自立支援事業に関するパンフレットやチラシを包括窓口を設置し、制度の周知を図る。 ・「いきいき出前講座」において、地域住民に向けて成年後見制度に関する周知を図る。	・随時 ・随時 ・随時	・随時実施 ・パンフレット設置 ・依頼なし
② 高齢者虐待の防止及び対応	・虐待が疑われるケースについて、東郷町の「高齢者虐待対応マニュアル」に基づき、速やかにケースの状況を把握し、町担当課と連携を図りながら対応する。 ・高齢者虐待防止に関するパンフレットを包括窓口を設置したり、「いきいき出前講座」において、地域住民に向けて高齢者虐待防止の啓発(早期発見・早期対応のための啓発)を図る。 ・ケアマネ研修会、事業所連絡会等において高齢者虐待の防止や高齢者への権利擁護について周知を図る。	・随時 ・随時 ・随時	・随時実施 ・随時実施 ・未実施
③ 困難事例への対応	・困難事例を把握した場合は、包括内の三職種が連携して関係機関とのネットワークを活用した支援を行う。 ・困難事例に対して個別ケア会議を開催し、医療や介護関係機関だけでなく、地域や障がい者相談支援センターなど幅広く様々な機関と協働し問題解決を図る。	・随時 ・随時	・随時実施 ・随時実施
④ 消費者被害の防止への対応	・消費者被害に関する相談や発見があった際は、町担当課や消費生活相談センター、警察署と連携して支援を行う。 ・介護支援専門員や民生委員等の関係機関と連携し、迅速に消費者被害等の情報を把握・提供できるようにする。 ・包括窓口で消費者被害等防止するパンフレットを配置するとともに、「いきいき出前講座」や地域の通いの場において、消費者被害防止の周知を図る。	・随時 ・随時 ・随時	・随時実施 ・随時実施 ・パンフレット設置
【具体的な取組内容や実績値について】			
高齢者や家族から成年後見制度についての相談があった際、パンフレットでの説明や尾張東部権利擁護センターの出前相談を紹介し活用促進につとめている。圏域内で消費者被害の疑いがある内容を愛知警察署に報告し、同様の事例がないか確認した。虐待疑いのケース通報があった場合、行政担当者に速やかに報告し、対応を検討している。			
【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 高齢者の権利擁護の啓発について、今後はケアマネ連絡会と調整し周知する機会を作れるようにしたい。また介護支援専門員に関心を持ってもらうよう包括が関わった具体的な相談事例など紹介していきたい。			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務			
①包括的・継続的なケア体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員研修会及び現任介護職員研修会を開催し、地域の介護支援専門員や介護職員等の資質向上を図る。 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしと共催で研修会を開催し、地域の介護支援専門員等の専門職の資質向上を図る。 介護支援専門員が社会資源を把握し活用できるように、「東郷町内通所介護・通所リハビリテーションのご案内」冊子を発行する。 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会年5回 年2回 発行：年1回 	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員研修会3回/年実施 介護職員研修会2回/年実施 共催実施なし 冊子発行
②地域における介護支援専門員のネットワークの構築と活用	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員連絡会を開催し、介護支援専門員のネットワークを構築する。 主任介護支援専門員部会を開催し、地域の介護支援専門員のニーズ等を把握する。 介護保険事業所連絡会を開催し、町内における介護職の顔の見える関係づくりを整える。 豊明東郷医療介護サポートセンターや地域支え合いコーディネーターなどの関係機関と協力し、地域における医療及び介護保険外のサービス等の情報提供を介護支援専門員等に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回 年1回 年1回 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 介護支援専門員連絡会年3回実施 主任介護支援専門員部会年1回実施 年2回実施 介護保険事業所連絡会年1回実施
③日常的個別指導・相談及び支援困難事例等への指導・助言	<ul style="list-style-type: none"> 多職種カンファレンス等を通して、介護支援専門員が自立支援型ケアマネジメントが行えるように支援する。 支援困難ケースなどの相談に対して介護支援専門員が相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、同行訪問、情報提供等を行うなど対応を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年6回 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 年6回実施 ケアマネ後方支援84回/年
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 これまでかけはしが実施する研修会の周知の機会を増やすため共催形式にしていたが、研修会への周知が進んできたので今年度はかけはしの単独開催とした。研修会を含め東郷町介護支援専門員連絡会の運営方法について連絡会役員と検討を実施してきた。その結果、研修会と同時開催していた連絡会を5年度には独立して開催することになった。また研修会を連絡会独自で実施することになった。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 令和5年度以降、東郷町介護支援専門員連絡会を充実させるため、他市町の状態など連絡会役員に情報提供していきたい。また研修会のテーマについても、参加者の意見を収集するためアンケートを実施していく。今後、かけはしとの共催研修の予定はないが、多職種カンファレンスや包括主催の研修会などで積極的にかけはしが実施する研修会について周知の時間をとるなど協力していく。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
4. 第1号介護予防支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストを活用してアセスメントを実施する。 事業対象者・要支援者の自立支援・重度化防止の視点に立ち、インフォーマルサービスを活用した介護予防サービス・ケアマネジメント計画を作成する。 委託先の介護予防サービス・ケアマネジメント計画書等資料の内容を確認し、適宜見直しを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時 随時 全件確認 	<ul style="list-style-type: none"> 随時実施 ケアマネジメントA：委託年間 334件/包括：年間607件
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 基本チェックリストは契約時、計画策定時などに随時実施しアセスメントを実施している。また委託しているケースについては全件包括内で担当者を決め適切なケアマネジメントが実施されているか全件確認している。介護予防ケアマネジメント作成件数は令和3年度と比較し約9%増加した。(令和3年度793件)</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
5. 在宅医療・介護連携推進事業	<ul style="list-style-type: none"> 町と協働し「医療介護マップ(仮)」を作成する。 多職種カンファレンスと多職種ミーティングを開催し、地域における多職種連携を深めるとともに、地域の課題を抽出する。 豊明東郷医療介護サポートセンターかけはしや東名古屋医師会在宅医療・介護連携支援センターやまびこの運営会議等に委員として参加し、医療・介護連携を推進する。 電子@連絡帳を積極的に活用するとともに、関係機関に登録を働きかけ、多職種の連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> マップ作成 年11回 年4回 随時 	<ul style="list-style-type: none"> マップ作成 年11回開催 年4回参加 随時実施
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 多職種カンファレンスと多職種ミーティングを定期開催し、多職種カンファレンス終了後に関係者間において、地域の課題を抽出した。令和5年度に向けて実施方法の検討をおこなった。また電子@連絡帳の操作に不慣れな事業所については、マニュアルを配布した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
6. 生活支援体制整備事業	<ul style="list-style-type: none"> 生活支援体制整備事業に関する研修会に参加し、協議体の運営に参加する。 総合相談支援事業を通じて把握した高齢者の生活実態の情報を、地域支え合いコーディネーターや協議体に情報提供していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 協議体への毎回参加 コアメンバー会議への毎回参加 	<ul style="list-style-type: none"> 研修会を含め協議体に毎回参加 コアメンバー会議：年12回参加
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 生活支援体制整備事業における協議体やコアメンバー会議に毎回参加した。また地域支えあいコーディネーターとサロンづくりの支援について必要時に情報交換を実施した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
7. 認知症総合支援事業			
①適切なサービスを提供するための関係機関との連携(運営方針の(1)、(2)、(4)、(5))	<ul style="list-style-type: none"> 認知症地域支援推進員を配置し、相談の受付や訪問等を行い、関係機関との連携を図る。 認知症初期集中支援チームのチーム員として、三職種と情報共有を行うとともに連携して活動する。 認知症の人の適切な支援につながるように、コンビニやスーパーなどの職域との連携を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 推進員の配置 チーム員の配置 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 推進員を1名配置 チーム員を2名配置 職域訪問：3ヶ所(ファミリーマート/ミニストップ)
②認知症の人の介護者への支援(運営方針の(5)、(8))	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェや家族介護者が参加する場を利用し、認知症の人を介護している家族等の相談支援を行う。 認知症地域支援推進員のみならず、包括職員も認知症ケアパスを積極的に活用し、認知症の症状の予測、状態に応じた適切な対応とサービスについて本人やその家族に説明を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年6回参加 随時 	<ul style="list-style-type: none"> 認知症カフェ等：年12回 随時実施
③ 認知症の理解を深めるための普及・啓発(運営方針の(1)、(3)、(6)、(7))	<ul style="list-style-type: none"> 認知症への理解を深めるため、認知症キャラバンメイトとして認知症サポーター養成講座の開催や、検索模擬訓練等に運営協力を行う。 認知症に関する相談窓口としての周知を図るため、包括窓口において認知症に関する専門コーナーを設置する。 認知症支援策検討会に参加し、認知症に関する知識の普及・啓発及び認知症支援について検討し、取組む。 	<ul style="list-style-type: none"> サポーター養成講座：年3回 常時 検討会：年6回 	<ul style="list-style-type: none"> 養成講座：7回 常設 検討会：6回/年
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 これまで認知症地域推進員が認知症初期集中支援チーム員と兼務していたが、今年度は新たにチーム員を2名選任し、役割分担をした。認知症サポーター養成講座の案内を事業所等の訪問時におこない周知を図った。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
8. 一般介護予防事業	<ul style="list-style-type: none"> 住民に対して介護予防の周知を図るとともに、主体的に介護予防活動に取り組めるよう知識の普及及び啓発を行うため、「いきいき出前講座」を開催する。 住民に出前講座を活用してもらうためサロン等に周知に向く。 戸別訪問を実施し、要支援・要介護状態になる恐れの高い高齢者を早期に把握する。 地域の関係者と積極的な情報交換を通じ、地域に応じた介護予防に資する地区講座を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座: 年15回 周知活動: 年8回 諸輪住宅戸別訪問年90件 地区講座: 年2回 	<ul style="list-style-type: none"> 出前講座: 21件 周知活動: 1回 個別訪問: 53回 地区講座: 年2回
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 各地区に出向き講師と共にいきいき出前講座を実施した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 出前講座の周知を各地区に出向き個別に実施する予定であったが、新型コロナウイルス感染症で運営していないサロンなどがあつた。そのためサロンの日に行われた集まりの場で全体に出前講座の周知をした。令和5年度はこれまで出前講座の依頼がない地区(御岳・押草北)に周知をしていきたい。個別訪問は対象45人に対し2回/年訪問を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により思うように家庭訪問ができなかった。今年度で諸輪住宅の重点訪問は終了するが、気になる高齢者は令和5年度に引き続き訪問リストにあげ継続的なかわりができるようにしたい。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
9. 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築	<ul style="list-style-type: none"> 地域密着型サービス運営推進会議に参加し、地域課題の共有や情報提供を行う。 薬局、郵便局、スーパー等に設置している包括紹介カードの補充やポスター掲示を通じて、積極的に地域の情報収集や関係機関との顔の見える関係づくりを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 年18回程度 13ヶ所 	<ul style="list-style-type: none"> 年8回 11ヶ所/年
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 地域密着型サービス運営推進会議は書面会議がほとんどであった。包括紹介カードは11ヶ所設置(和合郵便局・白鳥郵便局・キョーワ薬局東郷店/諸輪店/和合ヶ丘店・貴船薬局・三聖堂・ドラッグユタカ・アリエス調剤薬局・リリーフ調剤薬局・愛知警察署)しており、年4回ほど補充し各店舗スタッフと認知症や気になる住民がいなか情報交換をしている。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】 包括の紹介カードを圏域の2つのスーパーに設置するための調整ができなかった。スーパーだけでなく高齢者が立ち寄りそうなコンビニエンスストアや喫茶店などの場所に設置すれば周知が図れるのか、再度検討したい。</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
10. 地域ケア会議	<ul style="list-style-type: none"> 地域包括ケアを推進するため、地域ケア会議においては多職種の参加を促し、個別課題以外に地域課題も把握する。 個別ケース会議で明らかとなった地域課題や資源開発について、地域ケア推進会議で提案を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種カンファレンス年6回 個別ケア会議年6回 地域ケア推進会議年5回 	<ul style="list-style-type: none"> 多職種カンファレンス: 年6回/個別地域ケア会議: 年16回 推進会議: 年5回
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 地域ケア会議のマニュアルが整備され、スムーズに会議を開催できるようになった。そのため虐待ケースのみならず身近な地域で運動できる場をどのように作っていくのか、個別地域ケア会議を実施した。</p> <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

事業、業務名	内容(何を、どのように)	目標値	実績値
11. 指定介護予防支援業務	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者の自立支援・重度化防止の視点に立ち、インフォーマルサービスを活用した介護予防サービス・ケアマネジメント計画の作成をする。 委託先の介護予防サービス・ケアマネジメント計画書等の内容を把握し、適宜助言する。 	<ul style="list-style-type: none"> 随時 全件確認 	<ul style="list-style-type: none"> 予防給付: 委託年間601件/包括: 年間876件
<p>【具体的な取組内容や実績値について】 介護予防サービス・ケアマネジメント計画策定数は約7%の増加であった。また委託しているケースについては全件包括内で担当者を決め適切なケアマネジメントが実施されているか全件確認している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 予防給付: 委託年間601件/包括: 876件 予防給付: 委託年間607件/包括: 年間822件(令和3年度実績) <p>【(目標値が未達成の場合)理由や今後の取組等】</p>			

3. 重点取組事項(自由記載)

<p>◎コロナ禍において、地域の閉じこもり傾向にある高齢者の実態把握を行い、適切な支援につなぐため戸別訪問を実施する。</p> <p>◎地域へ積極的に出向き、地域包括支援センターの活動周知を行うとともに、多様な機関や多職種との連携を深める。</p> <p>◎地域ケア会議や個別ケア会議において多職種等と協働して、圏域内の個別課題だけでなく地域課題を積極的に拾い上げる。</p>
<p>【具体的な取組内容や課題など】(2. で記載したもの以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> 住民や民生委員から気になる高齢者の情報があつた場合、速やかに家庭訪問をおこなうように努めた。 運動教室などに出向いた際は、積極的に住民に声をかけ包括の周知を図ってきた。 個別地域ケア会議のマニュアルを包括支援センター内に周知し、必要時に会議を開催し地域課題の把握ができるようにした。

※ その他の実績値については、資料1-2「令和4年度 東郷町北部地域包括支援センター事業報告(実績値)」のとおり。